



## 臨床研究に関する情報の公開

作成日:2017/11/24

研究課題名	後期高齢者における早期胃癌 ESD 後の長期予後に関する観察研究
研究の対象	2005 年 1 月から 2014 年 6 月までに当院で胃 ESD を施行し、病理学的に腺癌と診断され、3 年以上の経過観察を確認できた早期胃癌の患者様です。
研究目的・方法	本邦における 75 歳時点での平均余命は男性 12.1 年、女性 15.7 年であり、早期胃癌の無治療における 5 年生存率は 60%程度であること、早期胃癌の内視鏡治療後の 5 年生存率は 95%以上であることから、後期高齢者に対する早期胃癌への内視鏡治療は予後延長に寄与することが予測されます。しかしながら、後期高齢者における早期胃癌に対する内視鏡治療による予後延長効果を示す報告は少ないのが現状です。当院にて ESD を施行した早期胃癌患者の長期成績を解析する事により、より若年の患者と比較し、後期高齢者の ESD 後の生存期間に有意差はあるのか、また ESD 後の生存期間に関与する因子にはどのようなものが存在するのかを検討するものです。研究期間は医の倫理委員会の承認及び病院長の許可後から 2018 年 2 月 28 日までと致します。
研究に用いる試料・情報の種類	評価項目：後期高齢者における胃 ESD 後の生存期間、ESD 後生存期間に関与する因子 情報：カルテ番号、性別、年齢、併存疾患の有無、5 年生存率、転移/再発の有無、死因 等 試料：使用致しません
お問い合わせ先	<p>本研究に関するご質問等がありましたら、下記の連絡先までお問い合わせ下さい。 ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。 また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。</p> <p>照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先： 田附興風会医学研究所北野病院 消化器センター 内科 〒530-8480 大阪府大阪市北区扇町 2-4-20 TEL 06-6312-1221 FAX 06-6361-0588</p> <p>研究責任者： 田附興風会医学研究所北野病院 消化器センター 内科 医員 渡邊 幸太郎</p>